

国家試験合格率が低い原因は何か？

令和元年度 事業団巡回訪問実施結果に基づき、解析

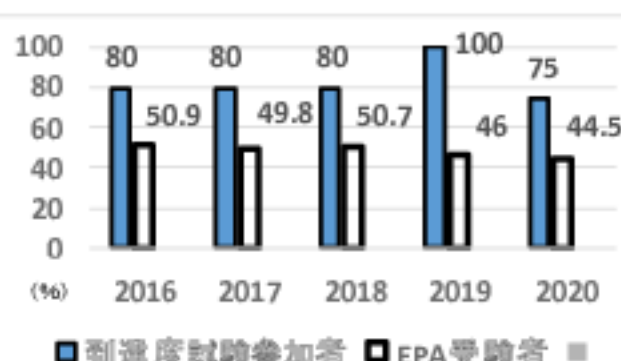
- ※ EPA 事業が開始されて、今年で 12 年目を迎えた。しかし、国家試験合格率は一向に高まっていない。逆に、減少傾向すら見られる。合格率は、施設並びに病院の労働力の確保に直結する。（表 1、3 参照）
- ※ 特に今年は、新型コロナウイルス感染症によって「三密」を避けるために、通学や外部者である日本語教師の訪問教育等が自粛されて、国家試験学習が十分に行えない環境となっている。即ち、学習環境の在り方が変化している。

- ※ この状況からすると、来年に行われる国家試験の合格率は、現状よりさらに低下せざるを得ないことが予測できる。前月号で取り上げたオンライン教育が様々な形態で行われるようになった。
- ※ しかしながら、今までオンライン教育の経験のない所が慌てて行ったとしても、その教育効果は決して高いものと言えない。この点、前月号を十分に熟読して、関係機関は対応してほしい。

I、【 EPA 受験者は、なぜ合格率が低いのか？ 】

- 令和元年度事業団巡回訪問実施結果の中で、受験者に聞き取り調査を行った報告がある。これはあくまでも受験者の主観的判断で答えているので、客観的言語能力査定を行ったものではない。しかし、受験者意識の実態を把握するためにこの機会に紹介する。
- 日本語によるコミュニケーションでは「十分にできる」が 19%、「だいたいできていない」は 75.29%、「あまりできない」は 5.5%、「全くできない」は 0.14%となっている。また、文字によるコミュニケーションでは、「十分にできていない」は 10.14%、「だいたいできていない」は 77.86%、「あまりできていない」は 11.89%、「全くできていない」は 0.04%となっている。
- この結果を見ると、特に文字によるコミュニケーションができていない比率は約 88%であり、この数値が本当であれば、国家試験合格率が 5 年間平均で約 50%であることは、受験者の主観的な返答に【自覚の誤りが多大にある】ことを表している。即ち、文字によるコミュニケーションができるのであれば、国家試験問題を解く能力も、十二分にある。しかし、その合格率は約 50%に過ぎないということは、報告書が実態把握していないこととなる。

表 1、【 介護士国家試験合格率 5 年間の推移 】



- 合格率が低い最大の原因は前述した通り、受験者、並びに受け入れ機関が客観的な言語能力を把握していないことが大きな要因となる。その結果、受験後不合格者を出すことによって、はじめて気づく実態がある。これを解決するためには、定期的な言語能力査定【到達度試験】を実施することにより、言語能力を客観的かつ、科学的に把握する必要がある。

II、【 到達度試験参加者はなぜ、合格率が高いのか？ 】

- 表 1 の通り、【到達度試験】参加者の 5 年間平均合格率は 83%で、非参加者の平均合格率は、48.3%にしか過ぎない。この差は、34.7% にも及ぶ。
- 前述した通り、【到達度試験】参加者は、定期的に【到達度試験】を行い、常に客観的な言語能力を把握しながら教育指導をしていることが、合格率を高めている最大の要因だ。特に表 2 では、【合格できる要因】の上位 5 位を表している。この中で、母国で看護師資格を有していたために、国家試験対応能力を養う段階で、「介護士の視点」と「看護師の視点」との違いを意識的に指導している。その結果、試験問題の対応能力が身につくことになる。
- この視点の確立ができると、表 2 の 2 位から 5 位までの状態を創り出すことができる。この教育指導の視点が【到達度試験】参加者の高い合格率を維持している最大の要因だ。

表 2、【 介護受験者が合格できる要因 】

1位	「介護士の視点」が確立できていること。
2位	専門用語の語彙理解ができていること。
3位	日本の介護事情が理解できていること。
4位	問題を正確に読解できること。
5位	対訳をしないで、語彙理解ができること。

(時間) 【 介護受験者一週間あたりの学習時間数 】



出典：令和元年度 事業団巡回訪問実施結果 ■施設内 ■自宅

Ⅲ、【あまりにも低い合格率の原因は、これだ！】

1、【到達度試験参加者と非参加者の合格率の差は、55.3%にも及ぶ！】

●表3で表した通り、過去3年間の看護の合格率平均は、13.03%であり、この合格率では、病院の労働力不足を補う実績とはなっていないことが判明した。
しかし、【到達度試験】参加者の合格率は、68.33%にも達している。この差異は、なぜ生じているのかを本号で考察していく。

●表4は、【合格できない原因】の上位5位までを表した。1位目に「基礎的な日本語力がない」があることは、表2の【介護受験者が合格できる要因】とは決定的な違いがある。即ち、看護受験者は、日本語力がないにも関わらず、入職直後から専門知識、並びに専門用語の習得を中心とした教育指導が全国的に行われている。中には、対訳の教育指導をしている所さえある。その結果が合格率に表れていることに気づかなければならない。

2、【看護受験者は、介護受験者の約3倍の学習時間量！】

●合格率の傾向は、減少傾向にある。しかし、表4の【一週間あたりの学習時間数】を見ると、大きな変化はない。三年間平均で、31.63時間の学習時間量だ。この数値からすると、1日あたり4.51時間学習していることが分かる。この学習量は、介護受験者（表2）と比較すると、明らかに約3倍学習していることとなる。にも関わらず合格率は、介護が2020年度の場合44.5%に対し、看護は11.1%にしか過ぎない。

●このことは、看護受験者に対する教育指導の在り方に問題があると言わざるを得ない。大量の学習時間を使いながら、表4【合格できない原因】の1位から4位までがほとんど学習できていないことは、教育指導の在り方を根本的に変えない限り、この問題は解決できないし、合格率を高めることはできない。

3、【合格率を向上させるためには、これが必要！】

●表5の通り、病院の問題が合格率に反映されていることを認識すべきだ。特に④が強い病院程、合格率は高くない。即ち、病院全体の人材育成として、一貫した育成方法を早急に確立しなければ、労働力不足の解消の対応策として、EPA受け入れの意味がない。

●このことを考慮した上で、表5の問題を解消することが最大の合格率を高める方策だ。

表3、【看護師国家試験合格率3年間の推移】



表4、【看護受験者が合格できない原因】

1位	基礎的な日本語力がない。
2位	専門用語の熟語漢字と、外来語の語彙理解ができていない。
3位	日本と母国の看護知識の差異が理解できていない。
4位	医療関連法律と日本事情を理解していない。
5位	対訳のため、正確な語彙理解ができない。

【看護受験者一週間あたりの学習時間数】

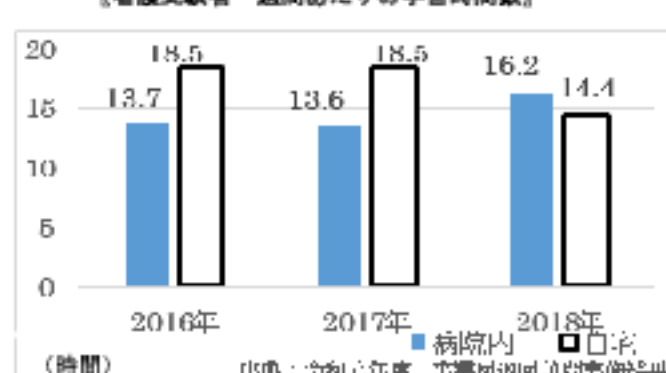


表5、【低い合格率の要因】

①	病院内の教育指導に対する意見の不統一。
②	現場と管理部門の方針の違い。
③	現場が客観的な評価を嫌う傾向。
④	現場の縄張り意識が弊害。

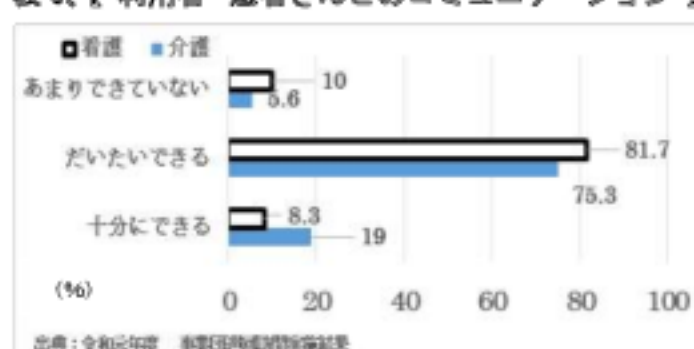
Ⅳ、【多大な学習時間量なのに、なぜ日本語力がないのか？】

●表6は、あくまでも受験者に関き取り調査をした結果だ。そのため、客観的な評価とは言えない。そのことを如実に表しているのは、「だいたいできる」以上の%は、看護で90%にも及ぶ。そして、介護は94.3%にも達している。

●例年の合格率から見ると、介護・看護ともに高い言語能力がありながら、合格率は介護で約50%であり、看護は13.03%でしかない。聞き取り調査結果は、この一点をみても、真相からかけ離れた結果と言わざるを得ない。

●最も重要なことは、【三年間学習計画】に基づいた客観的な教育指導と【到達度試験】が絶対必要だ。

表6、【利用者・患者さんとのコミュニケーション】



2020 年合格者インドネシア人インタビュー (Q&A)
マスヌン デワニ ハシブアン (山梨県)

【授業形態】

- ・到達度試験 (10 段階)
- ・スカイプ授業 (15 回)

【一年目の日本語学習について】

- Q1、「自学学習」の仕方が分かりましたか？
もし、自学の仕方を教えてもらわなかったら、一人で勉強できましたか？
- A、「自学学習」はできました。先生が教えてくれた通りに、教材を使いながら、一人で勉強していました。「自学学習の仕方」を教えてもらえなかったら、どうやって勉強したらいいかが分からなかったです。
- Q2、「聞く・話す・読む・書く」の変化を、自分で感じることができましたか？
- A、はい、変化を感じることができました。最初のレベルは、話すのは困難でした。文章を考えながら話しても、文になりませんでした。三か月後は、文法を詳しく学んで、文章も少しずつ、上手に書けるようになりました。半年後は、自分でもびっくりするくらい、日本語ができるようになり、文章も無理なく書けるようになりましたし、聞きながらメモをとることができるようになりました。
- Q3、介護日記は、いつ頃から書き始めましたか？
また、どんな点に苦労しましたか？
- A、働いてから6か月間位経ってからです。
書く時の言葉と、話す時の言葉が違うから難しかったです。専門用語がなかなかできなくて、ほとんど話し言葉で書いていました。

【EPAの後輩達に、メッセージをどうぞ！】

- たくさん、伝えたいことがあります。一年目は、事業団のテスト勉強や、国家試験の勉強ではなくて、「生活で使う日本語」をもっともっと勉強してもらいたいです。その理由は、生活で使う言葉が試験問題の中にはたくさん出てくるし、その言葉が分からないと、その問題が答えられないからです。
- 私は、二年目から少しずつ専門用語の学習をしてきました。でも、最初の一年間の日本語の勉強がとても大切だと感じています。日本語のプロの先生に勉強を覚えてもらうことが、一番大切だと思っています。なぜならば、自分で日本語を勉強することができるからです。

【二年目・三年目の受験対策について】

- Q1、専門用語・知識の「自学学習」はどうでしたか、できましたか？
- A、できましたが、最初の方は言葉の意味が分からないから、難しかったです。でも、日本人と同じ介護の参考書を全部読めるようになりましたので、意味を自分で理解できました。
- Q2、国家試験問題の「解き方」を教わる前と後では、どのような違いがありましたか？
- A、自分で試験問題を解いていた時は、1問解くのに時間がとてもかかりました。でも、先生から「解き方」や「テクニック」を教えてもらった後、解く時間がとても短くなって、1問1分間もかからないくらいで、解けるようになりました。自分一人でも時間を計って練習しました。
- Q3、先生と一緒に受験対策の勉強をして、どのように変わりましたか？
- A、専門用語の意味がはっきりと分かるようになりました。先生は、難しい専門用語を易しい言葉で教えてくれたり、分かりやすい言葉を選んで私に教えてくれたので、言葉の意味がはっきり分かって、受験対策の勉強がとても楽しかったです。

【三年間のスカイプ学習と、合格後の仕事について】

- 先生と一緒に、三年間スカイプ授業で楽しく勉強できてとても良かったです。本当は、もっともっと勉強をしたかったのですが、お金の関係でできませんでした。先生の「教え方」のおかげで合格できたと思っています。
- 合格してからの仕事は、今までと変わりなく、難しくはありません。候補者の時から、介護業務も最初から、色々な業務に入っていましたから。候補者の時から、私は「ケアプラン」も書いていました。「ケアプラン」は入職して半年で、できるようになっていました。だから、合格してからも仕事は全然難しいと思ったことはありません。

【受験者の言語能力を客観的に把握すること！】

- ※ 全国の多くの受け入れ機関では、未だに受験者の言語能力を客観的に把握しないままに、入職一年目から「専門教育優先」の考えで、教育指導をしている。
- ※ その結果が、毎回の合格率にも具体的に反映されており、看護、並びに介護ともに低い合格率となってしまう。また、業務を遂行する場合に言語能力が不足しているため、実務能力が問題となっている。
- ★ 基本は、受験者の現状の「言語能力を把握する」ことが、絶対必要だ。その上で、言語能力に基づいた【三か年学習計画】を立てることが重要だ。
- ★ 把握する手段としては、「基礎言語能力」が客観的に数値で分かる弊社の「10 分間テスト」がある。このテストは「読解力」だけではなく、「構文力」も分析でき、受験に必要な「瞬時反応能力」と、「言葉に対する捉え方の理解力」の差異をも判断できるものだ。

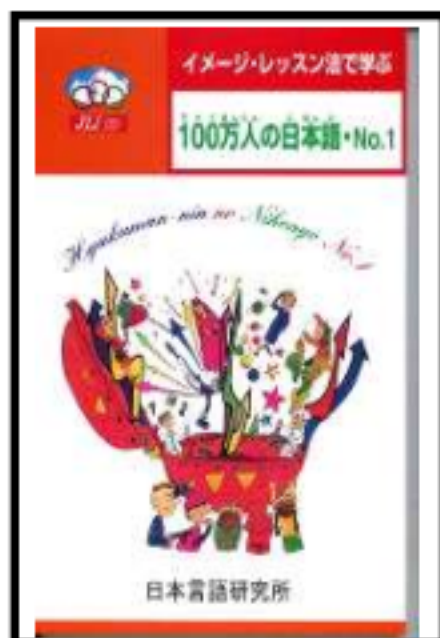
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・メールの問い合わせ先
ことばの研究所
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市植芳841

学習支援 主教材

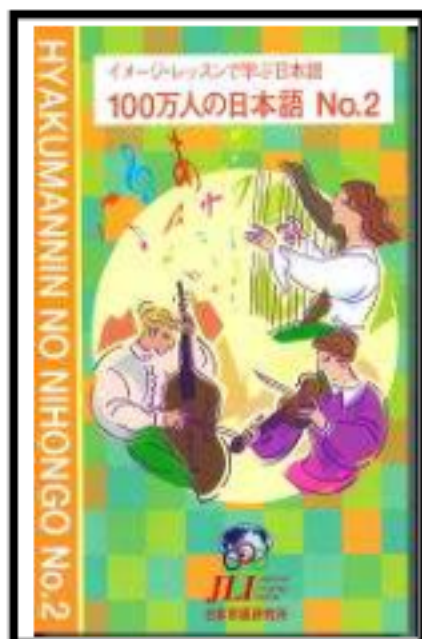
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

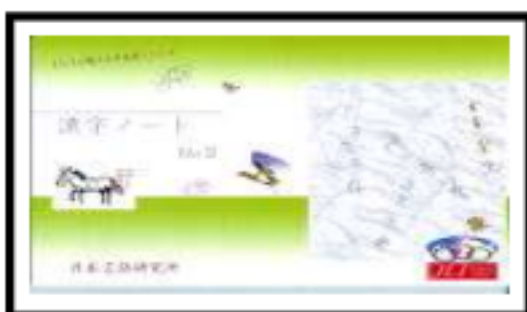


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題、領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		